

# 昭和52年度 和歌山県文化奨励賞

かいなんれいめい

## 海南黎明カメラクラブ

創 立：昭和10年

所 在 地：和歌山県海南市

会 員 数：75名

### ◎業績及び経歴

昭和10年7月、現会長明楽光三郎氏の提唱により、街の熱心な写真家10名が結集して発足。会員は、自営とか勤労者であった関係で、勤務に差支えのない早朝に撮影会をもったのが「黎明」と名のついた所以である。

終戦直後、和歌山県が観光立県を主唱したこともあって、会員は、県内山野をくまなく踏破、撮影行を実施し、すぐれた作品を県内外に紹介するなど観光立県に大きな貢献をした。

また、昭和37年、同38年の2回にわたり中国長春市との文化交流に成功し、相互の写真作品展を海南市、大阪市及び長春市において開催、両国々民に多大の感銘を与え、友好親善と文化の振興に大きな貢献をしたことも特筆されよう。

40有余年にわたるクラブ指導者の一貫した指導理念が数多くの立派な写真作家を輩出して、中央写壇にまで会の名声をとどろかすに至り、毎月の撮影会と作品研究会を通じて若手写真家の育成に努めている。

75名の会員は、郷土の文化振興に貢献する決意をもって、地場産業の漆器、捺染、和雑貨などの工程記録の収集、失われ行く郷土産業の和傘、製蠟などの工程記録保存や郷土の史跡名勝、建造物などの保護、顕彰に資する作品の製作に取り組んでいる。